林委員

1、的タルトヲ問ハズ戦争ノ形式ニ於テハ自衛権ヲ行使スルヲ得ザルモノト解ス

國際聯合憲章ノ解釋ニ付テハ加入ノ際ニ武力ノ提供ヲ免除セラルヽコトモ可能ナルベシ

2、國際聯合ノ加入ニ關シ、憲法ノ改正ヲ行ヒテ加入スルノ説ト、加入スルモ武力提供ノ義務ヲ免除セラルヽトノ説ノ二説中政

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAL

98

府ハ何レヲ採ルヤ

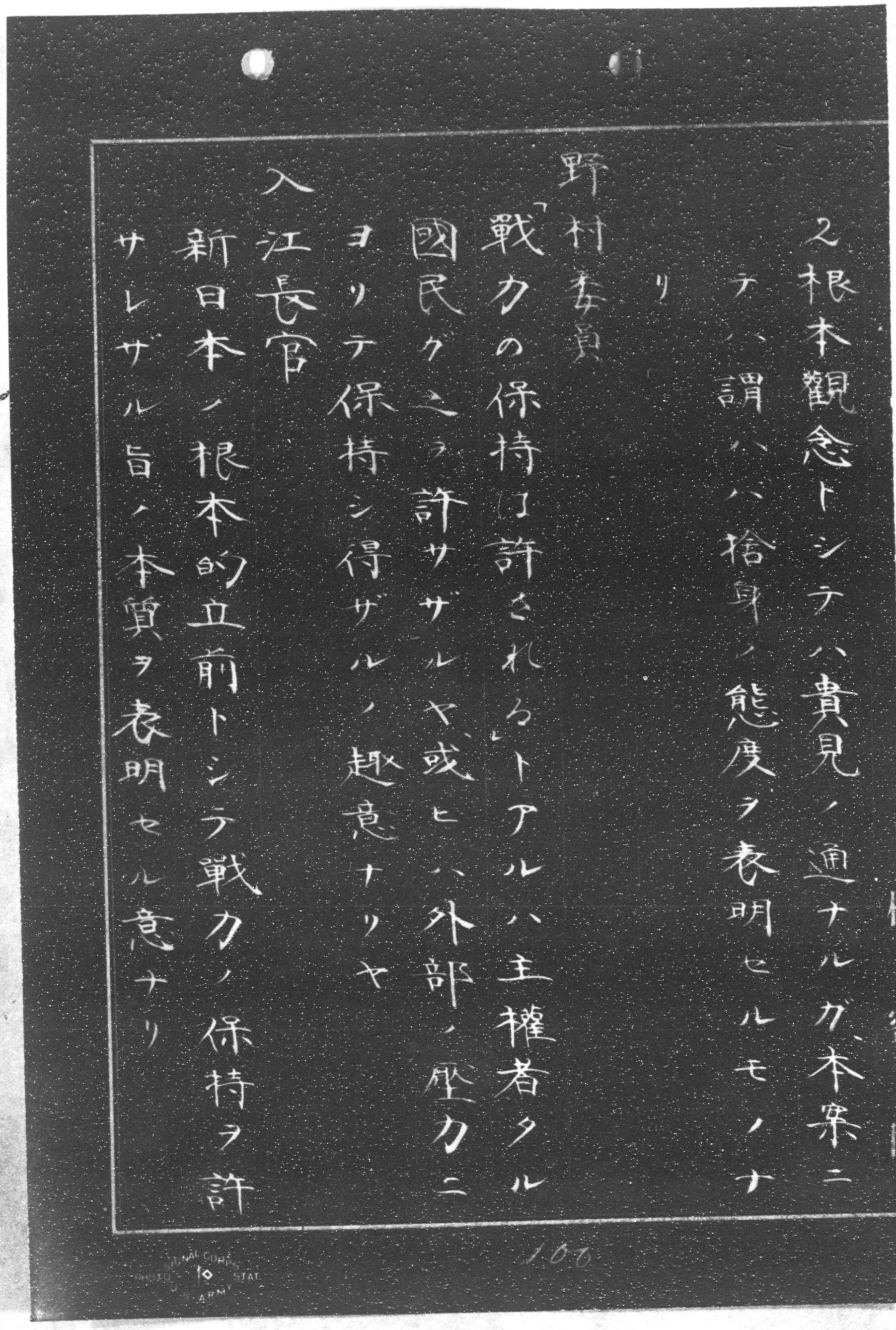
2、本案ハ國民ノ基本的人權尊重ニ念ニ
國家ノ基本的權利ニ關シテハ自衛權
否スラ疑ハル、如ク之ガ保証ニ充分
サルハ不調和ノ嫌ナキヤ

松本國務大臣

1、國際聯合ノ將來不明ニシテ、質問ノ
ヲ採ルヤハ今後ノ情況ニヨリ決定セ
ン至當ト思料ス

入江長官

178-972



入野

之根本觀念トシテ公貴見ノ通ナルガ、本案ニ於テハ、謂ハ、拾身ノ態度ヲ表明セルモノニ非ラズ

村委員

「戰力」ノ保持ハ許サレルトアルハ主權者タル國民グミヲ許サザルヤ、或ヒハ外部ノ壓力ヨリテ保持シ得ザルノ趣意ナリヤ

江長官

新日本ノ根本的立前トシテ戰力ノ保持ヲサレザル旨ノ本質ヲ表明セル意ナリ

許ニルニナ

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STA.

106

井坂委員

第九條ハ國際間ノ紛爭ニ關シ戰力ノ保持ヲ

許サヌト規定シテヰルガ、國内ノ紛擾ニ對スル措

置如何

入江長官

將來ハ充分ナル警察力ノ保持ニ進マザル可

カラズ

遠藤委員

政府ニ於テ左ノ諸措置ヲ採ラレンコトヲ希

望ス

極秘

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

潮

旨 戦 委 4、

1、「主権の発動」ノ字句ヲ削除スルコト

2、不戦條約ノ表現ニ倣ヒ戦争ヲ狭義ノ

3、第二項ノ規定ハ日本

シムル感アルヲ以テ

適當ナル表現ニ改メラレタシ

度キコト

「交戦権」ノ字句ヲ削除スルコト

員長

戦争の抛棄」ハ日本語トシテ意味ヲ成サス

ノ意見アリ、政府ノ所見如何

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

松林次官

日本國務大臣ハ戰爭ニ付テノ觀念ヲ拋棄スルノ意ニ解スルヤ

第三章國民ノ權利及義務ノ議題ニ供セラレタル委員

本案ニ於テハ現行憲法第十八條ノ如キ

ナキヲ以テ日本國民トシテ當然ラザル者トノ

明瞭ナラズ規定無クンバ自由ト解スルヲ不當ト解スルト

江長官

規定ハ區分ヲ

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY 10 STAT

林

現行憲法ニ於テスラ第十八條ノ規定アルニ
全テガ法規ノ定メアルニ非ズ、國籍法及條
ヲ以テスルモ猶洩ルルモノアリ、現行法ニ
テモ日本國民ナル實體ノ存スルヲ豫メ豫定
シ居リ、苟々一切ヲ包容シ得ルグ如キ規定
技術的ニ困難ヲ極ムルニヨリ本案ヲ以テ
ムラ得サルモノトセリ

委員

一、基本的人權トハ天賦ニ存在セルモノヲ
認スルノ意ナリヤ或ハ本案ニ於テ初メテ確

64

IONAL ARCHIVES
10 STAT
ARMY

5 4 3 2

テ権利ヲ異フルノ意ナリヤ

観 ナ ト 自 ヲ 侵 サ レ ヤ

秘 密 保 護 法 案 関 係 資 料

ナ、第十條ノ前段ト後段ト、第十四條ノ「固有の権利」トハ如何ナル意念ハ範圍ヲ異ニスルモノナリヤ、「固有」ノ字句ヲ削除スルモ差支ヘナキヤ

意ナリヤ

ヌ、「侵してはならない」「侵されない」「保障する」等ノ種々ノ用例アルモ各々意味ヲ異ニスルモノナリヤ

ネ、第二十條ノ「自由を侵さない」ト「自由を有する」ト「自由ヲ侵サレヌ」ノ如キハ用法ヲ變スル意味アリヤ

105

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

9 「自由」トセル場合ト「権利」トセル場合トデハ意味ヲ異ニスルヤ

8 第十一條ノ「自由及権利」ト第十條ノ「基本的人権」トハ別異ノモノナリヤ

7 第十一條ノ「不断の努力」ニヨツテ、コレヲ保持しなければならない」ト「自由及び権利は濫用してはならない」トスルヲ削除シ、直ニ「自由ハ不可トセザルヤ

6 第十二條ノ「幸福追求の権利」トハ不可解ナル表現ナリ、之等ハ基本的人権ト範疇ヲ同

12、ジクスルヤ

11、第十一條前段ト第十二條ノ前段トハ意味ヲ異ニスルヤ

10、第十三條ニ關シ、從來爵位ノミハ世襲ナリシガ本案ハ爵位ヲ認ムルヤ、位記ハ如何ニ取扱フヤ、又特權トハ如何ナルモノナリヤ、宮中席次ハ特權ナリト解スルガ如何ナル意味及必要性如何、又第十四條ノ第二項ノ意味如何

「全體」トハ國民全體ガ國家社會全體ノ意ナリヤ尚第三項ハ、選擧ト選擧ノ全

樞密院

107

SIGNAL CORPS
PHOTO 10 STAT
U S ARMY

入

1、江部ノ意ナリヤ、又「投票の秘密」トハ秘密投票ノ原則ヲ認メタルカ、或ヒハ記名投票ヲ爲スヲ得ザラシムル意ナリヤ

13、第十五條ニ請願ノ場合ヲ列擧シアラザル八全テ自由ナル意ナリヤ、司法權ニ對スル請願ヲモ許ス趣旨ナリヤ、

法務長官

一、本案ハ基本的人權ヲ創設スルノ意ニ非ズ第十條後段ヨリノ内容ヲ具體化シタル意ナリ

2、然ラズ、同一ナリ
3、公務員ノ性格ヲ特ニ表明センガ爲ニ國民ノ權利ト
タルガ、「固有」ヲ削除シ
方長官ガ公務員ノ選定、罷免ヲ爲シ得
ニ至ルベキヲ以テ、固有ノ語ハ必要ナ
4、語勢、口調、等修辞上ノ見地ヨリ各々適當
ル語句ヲ用ヒタルナリ
5、第一項ハ積極面ヨリ、第二項ハ移住ガ
ニ非ザル意ヲ表明スル爲消極面ヨリ本體
スルヲ適當ナリト解シクルニ由ル

極秘
院

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

6、自由ト八實體的ナルモノヲ表現シ、財産權
トカ、特ニ憲法デ規定シ居ルモノヲ權利ト
セリ兩者ヲ併存シ可ナリト思料セリ

7、基本的人權ト八謂ハヾ自由及權利ノ總稱
ノ如キモノナリ

8、前段八特ニ「國民各自ガ」ノ意ヲ強メタルモ
ノナリ

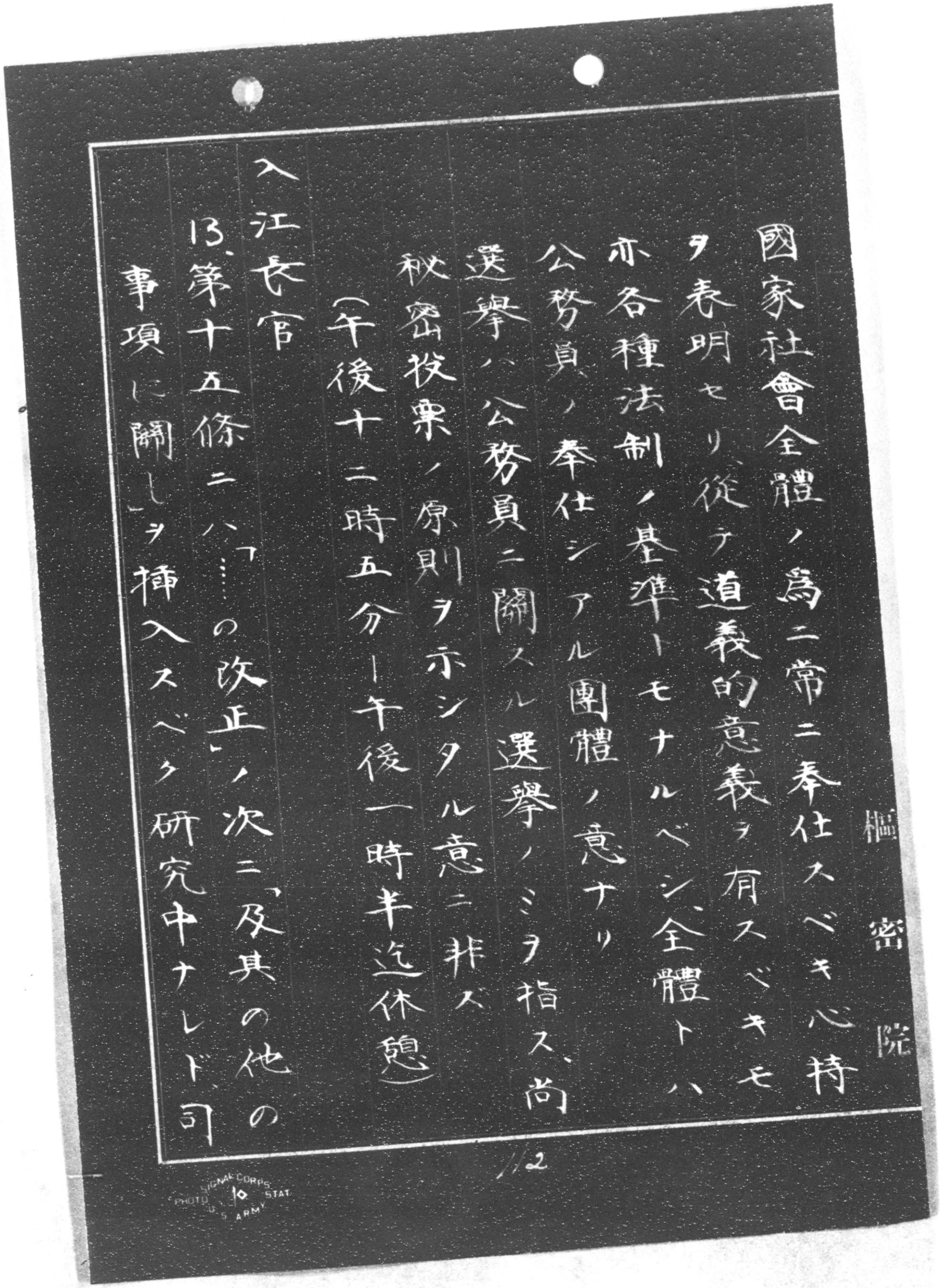
9、現狀維持的ナモノニ對シ特ニ積極的ナル
モノヲ表現センガ爲ナリ、併セテ戰時中ノ
犧牲觀念ノ暗サヲ拂拭シ明朗ナル氣分ノ

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

12、老明二勞メタリ、尚之ガ基本的人權ノ觀念
11、中ニ包含セラル、第十一條ハ國民全體ノ立場ニ對シ第十二
10、條ハ國民個人ノ立場ニシテ若干ノ相異ア
ルベシ
爵位ハ等二項ニヨリ將來之ヲ認メズ、位記
ハ廢止セズ、特權ト特別ノ内容ヲ有スル
利益ト解スルガ、宮中席次ノ如キハ、特權ニ
非ザルベシ
本條ハ公務員ノ本質ヲ示セルガ、公務員ハ

111

SIGNAL CORPS
PHOTO 10 STAT.
U S ARMY



枢密院

国家社會全體ノ爲ニ奉仕スベキ心持ヲ表明セリ、從テ道義的意義ヲ有スベキモ亦各種法制ノ基準トモナルベシ、全體トハ公務員ノ奉仕シアル團體ノ意ナリ

選擧ハ公務員ニ關スル選擧ノミヲ指ス、尚秘密投票ノ原則ヲホシタル意ニ非ズ

（午後十二時五分ー午後一時半迄休憩）

内閣法制局長官

第十五條ニハ「……の次正ノ次ニ」及其の他の事項に關シ」ヲ挿入スベク研究中ナレド、司

12

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

林委員

1、第二十條ニハ「公共の福祉に反しない限り」トノ制限アルニ對シ第十九條ニ制限ノ規定ナキハ全然自由ニ委スル趣旨ナリヤ

2、第十九條ニ於テ檢閲ヲ禁ゼルモ、例ヘバ風俗壞亂、安寧秩序紊亂ヲモ放任スルノ意ナリヤ

入江法務長官

秘密 院

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

1、自由ト稱スルモ放恣ニ非ズ規律アル自由
タルコトヲ要スルハ自明ノ理ナレバ自
制限アルモノト解ス
2、外部ニ表現セラレザル前ニ抑制スル
論ノ自由ノ本旨ニ反シ不當ナリト解釋シ
タルニ由ル、外部ニ表現セラレタルモノガ
不法ナル場合ニハ警察カラ以テ取締ヲ
可トス

1、第二十二條ハ社會組織ヲ個人主義ニ任セ

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

家族主義ヲ廃セントノ趣旨ナリヤ

2、家族に關するその他の事項」トハ何ゾ

3、第二十三條ハ個人尊重ノ立前ニ反スルコトナキヤ、又公衆衛生ト

4、第二十四條ニ特ニ「法律ノ定めるところにより」トセルハ特殊ノ意味ナリヤ

會の福祉」トハ同義ナリヤ

内容タルベキニ非ズヤ、尚、公共の福祉」ト「社會ノ福祉」トハ

5、第二十五條第一項並ニ第二十七條第一項ニ「法律の定めるところにより」ノ制限

二

よ

完

堀

密

115

3、2、1、江

ヲ要スベキニ非ズヤ

長官及佐藤次長

家族制度ヲ正面ヨリ

ア主ノ同意ヲ廃止ス

然リト雖モ、社會

ノ福祉ヲ目途トスベ

キ立法ノ方針ヲ示シ

ノ観念ハ責見ノ通リ

フベキ必要ヲ強調セ

ト公共ノ福祉トヲ別異

ズ

禁止セルモノニ非ズ

ルカ如シ

ノ観念ハ責見ノ通リ、特ニ開心ヲ拂

ル意ナリ、社會ノ福祉

ノモノトスルニ非

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

116

松本國務大臣

1、教育制度ニ關シテハ勅令ヲ以テスルノ慣習アリタルヲ以テ、今後ハ法律ヲ以テ規定スル旨ヲ明示セル意ナリ

2、由ル規定アラバ足ルト解シタル

3、自由ニ全然放任スルノ意ニ非ズ、兩性ノ合意以外ノモノヲ以テ婚姻ハ兩性ノ合意ニ基キテ成立ノ要件トスルヲ得ザルノ意ナリ、但シ婚姻ノ場合ニ於ケル戸主ノ同

4、從來

樞密院

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

林委員

等ニ二十八條ノ「法律の定める手續」トハ刑事訴訟手續ノ意ナリヤ、第七十三條ノ手續トハ如何ナル關聯アリヤ、

佐藤次長

然リ、手續モ勿論法律デ定ムベシ、第七十三條ノ手續ト八第二十八條ノ手續ノ細目ノ手續ノ意

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

林委員
奥野司法省民事局長
入江長官

然ラバ民事訴訟ニ關スル第二十八條ノ如キ規定ハ何條ナリヤ

民事訴訟ニ付テハ特ニ明示セザルモ判斷能ナルベシ

訴訟手續法ニテハ規定ナシ、手續當然法律ヲ以テ定ムベキヲ前提トシ居レリ、從テ第二十八條ハ刑事訴訟ノ手續ヲ特

SIGNAL CORPS PHOTO STAT U S ARMY

二、指揮シタル二非ズ一般的ニ刑罰ヲ科スル
八、法律ヲ以テ規定スルノ意ナリ
林委員
1、第二十九條ノ裁判所トアルハ現行憲法ノ
裁判官トアルヲ變更セルモノナルガ、陪審
制度ヲ認ムルコトニ關シ大ナル差異アリ、
2、第三十條ノ「司法官憲」ノ範圍如何、巡査ヲモ
本條ノ趣旨如何ニ依リテハ、ソレノ發セル令狀ニテ
含ムモノトセバ、斯クテハ國民ノ權利ノ
速捕セラレ得ベク

SIGNAL CORPS PHOTO STAT U S ARMY

保障ヲ害スルコトナキヤ

3、第三十一條ノ規定ニヨレバ抑留ニハ正當ノ理由ヲ要セザルヤニ解セラルヽガ如キモ又抑留トハ現行司法々規ニ用例無キガ如何ナル觀念ナリヤ

4、第三十二條ニ於テ要綱ニアリタル「身體」ノ語ヲ削除セル理由如何

5、第三十四條ノ強制的手續トハ何ゾヤ、又「公平ナル國」及「公平」ノ語ハ不可解ナリ

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

6、第三十五條ノ「唯一の証據」トハ例ヘバ
犯人ガ放火ヲ自白セル場合ノ如キ被告人
ニ關スルコト被告人ノ唯一ノ自白タル場
合ヲモ含ムヤ

7、第三十六條ノ「實行の時に適法であった
爲」トアルガ學説上放任行爲即チ無責任
ル行爲ハ如何「適法」ヲ「無責任」ト改メテ如
何

江長官及佐藤次長

1、裁判所トハ裁判官ヲ中心トスルノ意ニシ

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

テ趣旨ハ別段変改ナシ、陪審制度ニ關シテ
ハ目下研究中ナリ
「権限」ヲ有スル司法官憲」ノ権限ハ法律ヲ
テ規定スルモ、司法警察官ヲモ含ム意ニ解ス
3、第三十一條ノ「又ハ」ヲ「且つ」ノ意ニ解ス
以テ責見ノ如クニハナラズ、又抑留トハ
較的期間ノ短キモノ、拘禁ハ稍長キモ
解ス
4、要綱ニ拘禁ノ語アリクルニ對應スル
ナリシグ、第三十一條トノ重複ヲ嫌ヒ
削除モノ

佐藤司法省刑事局長ノ綜合認定ガ自白ノミナラズ他ノ傍証モナク、又常識的ノ表現ヲ採用セリ

7、貴見ノ如ク本案ニテハ常識的ノ表現ヲ使用セリ

5、強制的ニ呼ビ出シ得ルノ意ナリ、「國」トハ「國體ヲ以テ」ノ意味ヲモ表現セシメ、「公平」ハ組織ガ公平ナル點ヲ強調センカ爲ニ使用セリ

6、他ノ傍証ニ非ザルモノニ付テハ第二十八條ノ大原則ヲ適用ス

極秘

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

小
ハ
場合ハ有罪トナシ得ザルモノト解ス
7、實行上無責任行爲ヲモ含ムモノト解ス
惰委員
1、國民ノ納稅ノ義務ヲ明記スルノ要
2、第十二條ノ「最大の尊重」トアルヲ「最良の考慮が拂はれねばならない」ト改メテハ如何
江長官
1、納稅ノ義務ハ第八十條ノ規定ヨリ推察シ得ベシト解シ省略セリ
2、考慮ス

竹越委員　第二十條ノ國籍ノ離脫ハ國内ニ於テモ可能ナリヤ

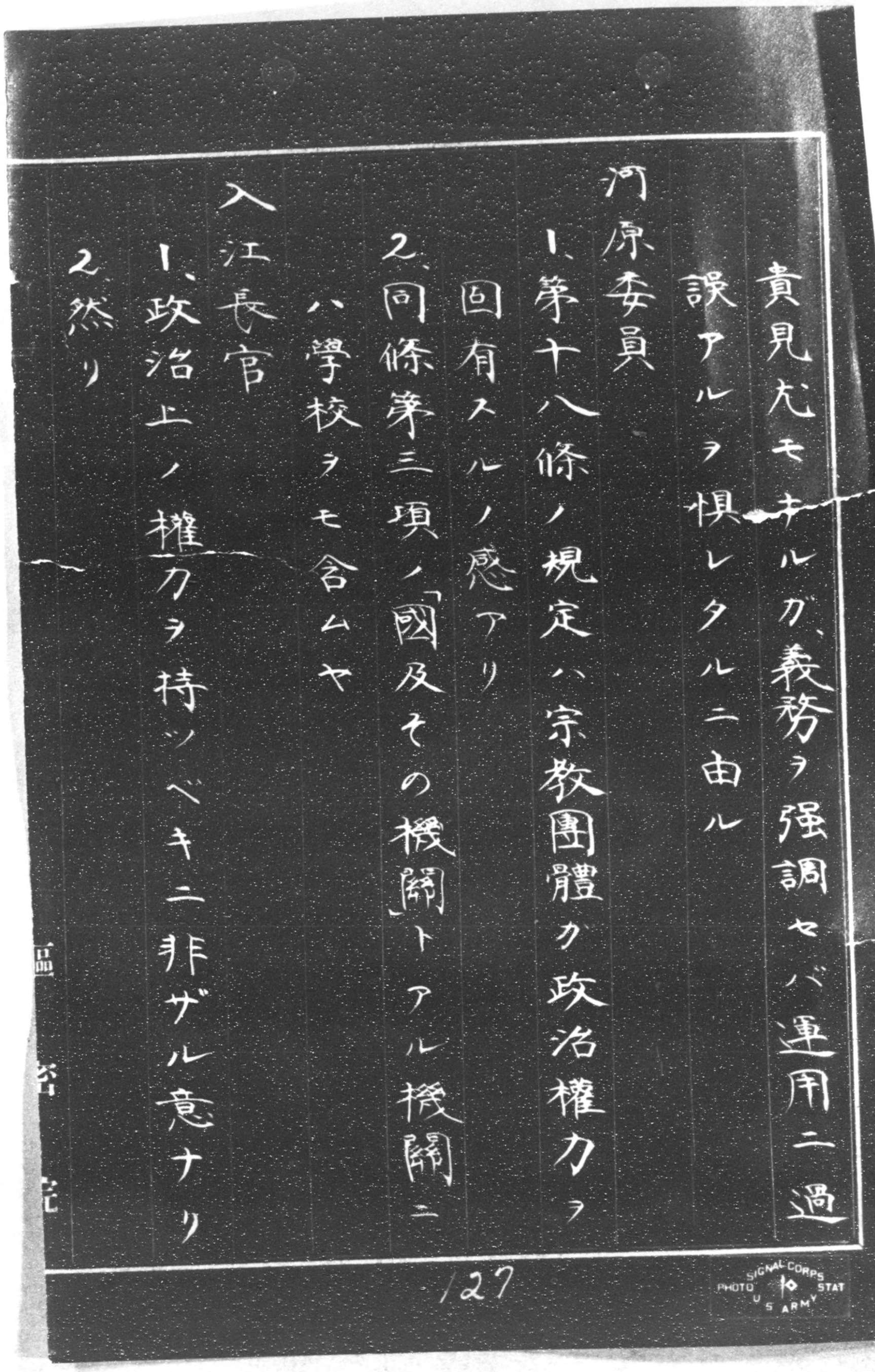
入江長官　然リト解ス

井坂委員　本官モ國民ノ權利主張ニ伴ヒ、義務觀念ヲ憲法ニテ特ニ明記スルノ要アリト思料スルガ如何

入江長官

極秘

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT



河原委員

1、第十八條ノ規定ハ宗教團體カ政治權力ヲ
回有スルノ感アリ
2、同條第三項ノ「國及その機關」トアル機關ニ
八學校ヲモ含ムヤ

久江長官

1、政治上ノ權力ヲ
2、然リ

貴見ヲ強調セバ運用ニ過
誤アルヲ惧レクルニ由ル

持ツベキニ非ザル意ナリ

SIGNAL CORPS PHOTO STAT U S ARMY

河原委員

1、然ラバ教育學宗教學等ノ教授モ禁止セラルヤ

2、日本人ニハ宗教的情操ノ涵養ヲ極メテ必要ナリト思料スルモ、宗教的活動ノ範圍如何

3、第二十四條ノ「能力に應じてひとしく」トハ經濟的事由ニヨル就學上ノ困難ニ對スル救濟ヲ含ムト解シテ可ナリヤ

4、初等教育ノ無償ノ範圍如何

SIGNAL CORPS PHOTO STAT U.S. ARMY

5、第二十六條ノ「團體行動をする權利」ニ罷業
權ヲ含ムヤ
江長官
1、然ラズ
2、訓育的意味ノ活動ハ差支ヘナシ、本條
定ノ宗教ニ則シ宗教活動ヲ禁ズルノ趣意ニ特
動ニ關スル社會活動ヲ禁ズルノ趣意ニ
3、國ノ救濟ハ含マズ
4、授業料ノミナリ
5、然リ

極秘

完

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

河原委員
現在官吏ノ罷業權
ナラザルヤ
江長官
罷業權ニモ各種ノ態様アリ、ソコニ又自
限アルベシ
委員長
本日ハ之迄トシ閉會ヲ宣ス
（午後三時四十五分閉會）

入潮

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

第帝國憲法改正案ヲ帝國議會ノ議ニ付スル件

五月八日（水曜日）樞密院

昭和二十一年

枢府ニ於テ開會

出席者

審査委員長　鈴木議長

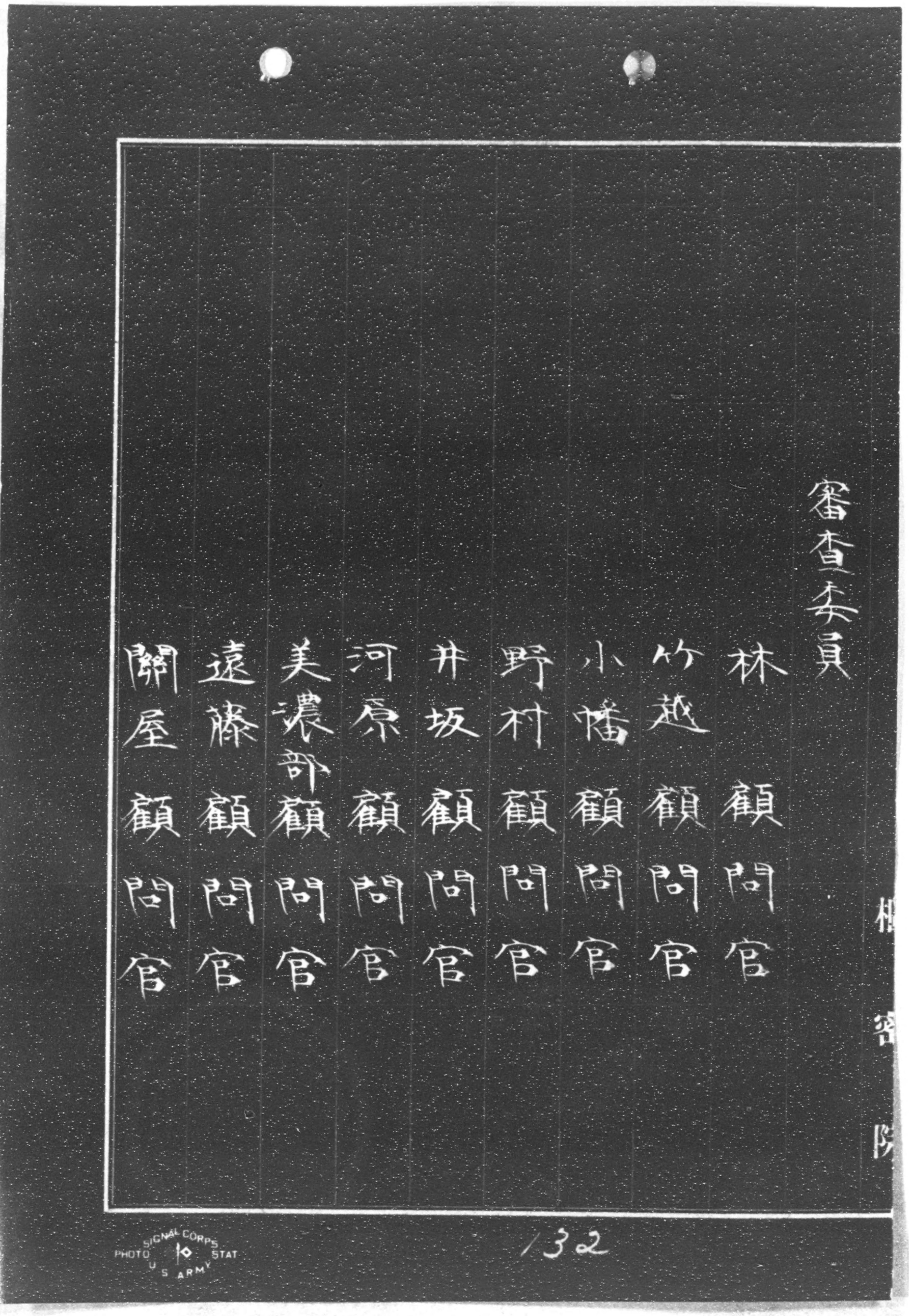
清水副議長

潮顧問官

事

131

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY


審査委員
林 顧 問 官
竹越 顧 問 官
小幡 顧 問 官
野村 顧 問 官
井坂 顧 問 官
河原 顧 問 官
美濃部 顧 問 官
遠藤 顧 問 官
關屋 顧 問 官
SIGNAL CORPS
PHOTO
U S ARMY
STAT
/32

國務大臣　松本國務大臣

説明員

大蔵省理財局長官　入江法制局長官
大蔵省理財局次長　佐藤法制局次長
大蔵事務官　井手法制局事務官
大蔵事務官　今枝法制局事務官
大蔵事務官　渡辺法制局事務官

/33

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

潮審査委員長開會ヲ宣ス

前回ニ引續キ遠藤委員ヨリ日本國民ノ要件ノ

（午前十時半開會）

諸橋書記官長

高辻事務官

鈴木事務官

佐藤司法省刑事局長

奥野司法省民事局長

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

規定スベキヤ否ヤニ付利林委員ト略ゝ同様ノ質疑ア
リタルニ對シ松本國務大臣及入江法制局長官ヨリ夫々前回同樣ノ答辯アリ次デ
遠藤委員
一、藝娼妓職人徒弟ノ年季奉公、農山漁村ニ於ケル長期雇傭等モ第十六條ノ、奴隷的拘束苦役ノ意義如何、賦役ハ該當スルヤ、又苦役ニ
2、第十九條ノ檢閲ニ關スル規定ハ法律ヲ以テスルモ檢閲ヲ行ヒ得ザルノ意ナリヤ

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

非常事變ノ場合ニ入ラ檢閱不能トセバ運
用上支障ナキヤ
3.第二十二條ノ財産權ハ廣義ニ解スベキヤ
或ヒハ夫婦財産制ノ如キ狹義ノモノトスヤ

入江長官及佐藤次長
ハ、奴隷的拘束トハ相手方ノ人格、換言セバ確
利主體タルコトヲ無視スルガ如キ拘束ノ
謂ニシテ娼妓ハ該當スルモ、其ノ他ハ右ノ
趣旨ニ反セザル限リ該當セザルベシ

極秘 密 院

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

又苦役ト八奴隷的拘束ニ八至ラザルモ、精
神的肉體的ニ普通人ノ耐ユ可カラザル苦
痛ヲ伴フモノト解ス賦役其ノ他ニ付テ八
右ノ標準ニ從テ判斷セラルベシ
2、法律ヲ以テスルモ檢閲ヲ爲シ得サルノ意
ナリ、運用上ノ支障無キヲ保シ難キモ檢閲
ヲ得ルノ途ヲ拓クトキハ濫用ノ惧レアリ、
本案ノ採レル人權尊重ノ立前ヲ明ニスル
利益ト如上ノ不便ヲ比較衡量セル結果本
案ニ決定シタル次第ナリ

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

關屋

3、家ヲ中心トセル夫婦財産制ノ意ナリ

1、小委員

2、第十三條ノ「門地」ノ意義如何

納税義務規定ノ缺除ハ國民ノ納税觀念ヲ弛緩セシムル惧レナキヤ

八門地ナリヤ

4、第十四條ノ公務員ノ範圍如何

5、憲法改正ニ伴ヒ民法刑法等ニ大改廢ヲ要スルモノヤ

第十八條ノ「國及其ノ機關」ニ私立學校ヲ含ム

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

松本國務大臣

6. スベキモ短日時ニ爲シ得ルヤ

5 宮中席次ノ如何ニヨリテハ祭式典其ノ他ニ參列ノ能否アルヲ以テ一種ノ特權ト不可能ト思料セラレ深ク憂慮シ

6 スベキニ非ズヤ

入江長官及佐藤次長

（午前十一時五十分ヨリ午後一時半迄休憩）

宮中席次ハ榮譽ナル特權

ハ別異ノ觀念ナルヲ以テ解スル榮譽ト特

極秘 完

139

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

林次

2家柄ト解ス皇族タル
3公ケノ事務ヲ擔當ス
者ヲ賤ク意味ニ(公法的單純ナル雇傭契約
ニヨル者ハ含マズ
4本規定ハ直接私立學校ニ關シタルモ
非ズ
供ス

第三十七條ノ規定ニヨリ國會カ唯一ノ立
法事項ノ範圍如何

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

140

入　林　入

江長官

本案ニ於テハ全テ法規ヲ制定スルニハ國會ノ議ヲ經ザル可ラズトノ立前ヲ採リ、從來ノ如キ憲法上ノ立法事項テフ特別ノ觀念ヲ規定セバ換言セバ國會ノ議ヲ經タルモノ即法律ナリ

委員

然ラバ法規トハ何ゾヤ、

江長官

法規トハ國法トハ新ナル權利義務ヲ國民ニ命ズルモノヲ謂ニシテ、

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

極密

院

林委員

利義務ノ關係ヲ規律スル内容ヲモツモノト解ス

松本國務大臣

今日ノ法律中ニハ道義的準則ヲ内容トスルモノアリ必ズシモ權利義務ノ關係ヲ定メタルニ限ラルルコトナシ

私見ニヨレバ權利義務ニ關スル定メハ必ズ法律ニヨラザル可ラザル事項ナリ

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

ト解ス本案ハ後者ノ廣キ定メ方ニヨル、

林委員　權利義務ト云フ國民ノ義務ト云フ意ナリヤ

松本國務大臣　主ト權利義務ノ意ナリヤ

ト　アリ得ベシ　シテ然レ共國家機關國家組織ニ付テモ

林委員　權利義務ニ關スル規定ハ法律ヲ定ムル旨ノ現行第九條ノ如キ一箇條ヲ挿入セバ法律事項ノ範圍ハ明瞭トナルベキニ然カセザリシ

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

松本國務大臣　理由如何

林委員　逐一規定スル立場ヲ採ラザリシモノナリ

松本國務大臣　ト云フ案ニ於テハ自明ノ理ニ付規定セズ、即チ法律ヲ

松本國務大臣　本案ニ於テハ自明ノ理ニ付規定セズ、即チ法律ヲ

松本國務大臣　ト云フ案ニ於テハ自明ノ理ニ付規定セズ、即チ法律ヲ

林委員　逐一規定スル立場ヲ採ラザリシモノナリ

松本國務大臣　如何ヤ、ソノ根據タル規定ハ如何、又認メラルベキヤ、トセバ條件乃至制限ア

極密院

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

林

現行法ニ於テハ委任ノ規定ナキモ實際上行
ヨリ認メラルヽコト明
ハレアリ、本案ニ於テモ第六十九條第六號ニ
命令ノ條件ニ付テハ適切ナル規定ヲ設クル
コト困難ニシテ各個ノ場合ノ解釋ニ委ネ置
クヲ適當トリト思料セリ

林委員

本官ハ屢述ノ如ク基本的事項ハ勅令モソノ
大綱ヲ明文化シ置クヲ後日ノ爲極メテ肝要
トリト確信ス

樞密院

145

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

松本國務大臣
林委員

全然無制限ニ放置スルハ不可ナルコト勿論ニシテ立法ノ際豫想シ得ベキモノニハ範圍ヲ限定シ置クベキモ、規定ノ仕方ニヨリテハ支障ヲ來ス場合アリ、能フレバ或程度自由ニ解釋シ得ル餘地ヲ殘シ置クガ最良ノ處法ニ非ズヤト思料ス

例ヘバ第十九條ノ場合、出版内容ガ安寧秩序又ハ風俗壞亂ニ該當スルモノトシテ之ヲ處

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

林　　松
松本國務大臣
斷スル司法處分ノ基礎法タル刑法ニ對シ最高裁判所ガ違憲ナリト判決ヲ下サザル
ヲ惧ル、
第十九條ニヨリテ自由ヲ保障シアルモノトス
内容ヲ犯罪トナルベキモノニモ保障スルハ
トハトテモ然ル場合
最高裁判所モ適當
判斷スルコトヲ必至ナリト思料ス
委員
第三十九條ニヨレバ兩議院ニ差異アル元
ヤ最

極秘

147

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

松本國務大臣

一、兩議院ノ議員ニ付任期解散ノ有無、選擧方法等ニ差異アルノミナラズ、資格並ニ選擧人ノ資格ハ別々ノ法律ヲ以テ規定シ得ルモノナレバ實質的ニ差異アラシムル可能アリ

二、第四十條ノ規定ハ猫參議院ニ職能代表ヲ認メ得ル餘地アリヤ

乙第四十條但書ノ規定ニ及ヒザル程度ニ於

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

林委員

テ議員ノ資格ニ差異ヲ設クルハ可能ナル

1第四十五條ニヨリ議員ノ威嚴ヲ、第七十五
條ニヨリ裁判官ノ報酬ヲ規定セルニ拘ラ
ズ一般官吏又ハ他ノ公務員ニ付俸給ノ
規定ナキ理由如何

2第四十六條ニ現行法ノ如キ現行犯罪ノ場
合ヲ規定セザリシ理由如何

3第四十七條ニ現行選挙法第五十二條但書ノ規

極秘
院

149

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

4 第四十八條ノ國會常會ニ會期ノ定メナキ理由如何

定ヲ訣ケサリシ理由如何又ハ會期ヲ決定スル時日又期間ヲ決定スルハ天皇ナリヤ、解散ニ付テモ然リ

5 第五十條ノ參議院緊急集會ノ權限如何

6 第五十一條ノ予算ハ選擧許訟又當選ノ訴訟ノ公開トハ委員會ヲモ含ムヤ

7 第五十三條ノ會議ノ公開トハ委員會ヲモ含ムヤ

8、第五十五條ノ「特別の定ある」トハ何レヲ指スヤ

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

ヤ

9 法律案ニ兩院協議會ノ規定ナキ理由如何

第五十五條

10 政府委員ニ關スル規定ナキ理由如何

11 第六十條ノ懲免ノ訴追手續如何

入江長官

1 國會ノ最高機關タル地位及司法權ノ獨立ニ關スル特ニ重ヲ拂フベキ意味ニ於テ

2 國會ノ見地ヨリ特ニ議員及裁判官ニ付規定シタルニ過キス

特ニ行政權ヲ輕視セル意ニ非ス

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY 10 STAT

2 現行法ト趣意ニ於テ差異ナシ議院法ニテ
規律セバ足リルト解シタルニ由ル

3 前號同様ナリ、但シ議員ノ資格ニ關シソレニ對シテ
議員タル行爲ハ議院外ノ行爲ニ非ズト解スベキニ由ル

4 議院法ニテ規定スル意ナレバ當然ナリ、又常會臨時會ノ
別ヲ問ハズ召集ノ主體ハ天皇ニシテ召集スベキヤ否ヤヲ内閣ガ決定スルノ意ナリ

5、 臨時會ノ召集ヲ解散ノ場合亦然リ
解散ハ國會ト同シク作用ヲ營ムモノナリ

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

佐藤次長

11 然リ手續ハ議院法ニテ定ム

10 委員會ハ議院ニ於ケル會議ノ準備手續ト解ス

8、 ルヲ以テ然ラサルモノハ第九十八條ノ場合ト

7 第五十五條第二項及第

6 リ現行法ニ於テハ政府委員ハ權利トシテ發

三人ルヲ得ルカ本案ニ於テハソノ要ト

トモノト認メ議院法ニテ規定セントス

判事彈劾法ニテ規定セントス

極秘 院

153

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

小

1、帝國會ノ會期ハ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ決スルヤ或ハ

2、第五十條ノ四十日、第五十五條ノ三十日ノ決ノ方ノ甚キ差ハ

3第五十七條ノ條約ノ承認ニハ批准ヲモ含ム

4、條約ノ國家代表者ハ天皇ナリヤ

9第五十六條ニ於ケル要件ヲ異ニ

ス、但シ議院法ニ規定スルヲ妨ケズ

ORIGINAL COPIED 10 STAT U.S. ARMY

枢密院会議

2

1

一、枢密院会期ハ内閣ノ之ヲ決定ス、國政ノ運用上會期ヲ憲法上固定スルハ適當ナラズトノ見地ヨリ議院法ノ規定ニ準ジ六ケ月以内ノ如キ法律ノ改正ノミニテ變改可能ナラシメントス

一、枢密院ハ國會ノ性質上如何カト思料シ現行五ケ月ヲ三十日ニ短縮シ又總選擧迄ノ三十日ノ期間ヲ四十日ニ延長セリ

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

仝然リ

佐藤次長

3、第六十九條第三號ノ條約ノ停結ト決

ヲ含メル意ナリ

潮委員長

本日八之迄ト宣ス

（午後三時四十五分閉會）

枢密院

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

156

6

第帝國憲法改正案ヲ帝國議會ノ議ニ付スルノ件
第六回審査委員會

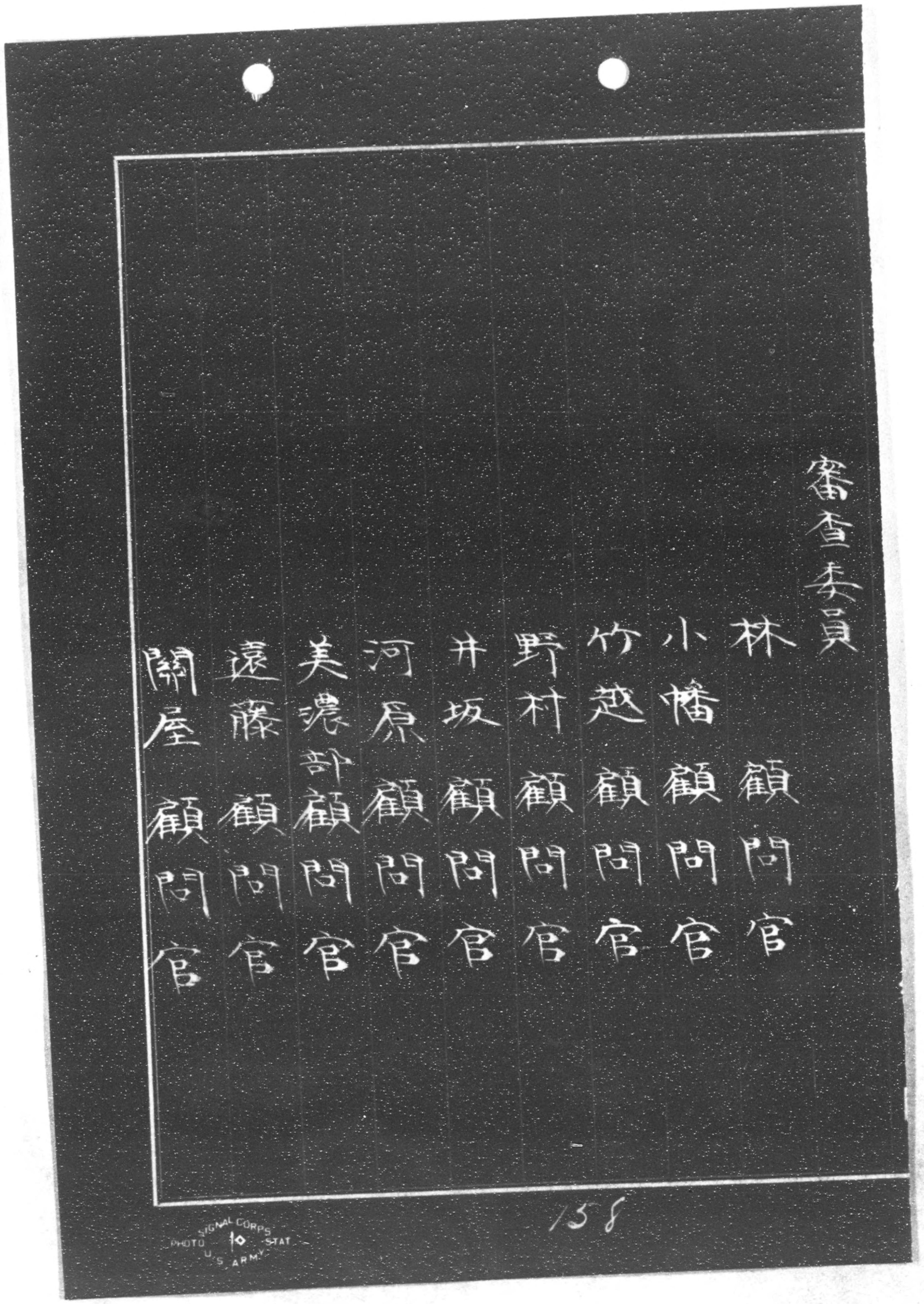
昭和二十一年五月十日(金曜日)樞密院事
務所ニ於テ開會

出席者

議長　鈴木
副議長　清水
審査委員長　潮
顧問官　樞密院

157

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT


審査委員
林
小
幡
顧
問
官
竹
越
顧
問
官
野
村
顧
問
官
井
坂
顧
問
官
河
原
顧
問
官
美濃部
顧
問
官
遠藤
顧
問
官
關屋
顧
問
官
SIGNAL CORPS
PHOTO
S-TAT
U.S. ARMY
158

幣原顧問官
大平顧問官
松本國務大臣
八江法制局長官
佐藤法制局次長
渡辺法制局事務官
佐藤(功)法制局事務官
奥野司法省民事局長

國務大臣
説明員

159

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

潮審査委員長開會ヲ宣ス（午前十時五分開會）

河原委員

ノ参議院ノ緊急集會ト八國會的ナルモノヤ、

佐藤司法省刑事局長

諸橋書記官長

高辻事務官

鈴木事務官

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

常置委員會的ナルモノヤ、

2、第五十條第三項ノ効力失効ハ溯及スルヤ、

3、第五十五條第二項ノ「これと異った議決」ハ否決ヲ含ムヤ、

4、第五十六條ノ豫算ニ關スル兩院協議會ノ決定ハ直ニ議院ノ決定トナルヤ、

久江長官

1、參議院トシテノ召集ナルガ、ソノ結果ハ臨時的ニ國會ト同一トナルモノナリ

2、溯及セズ

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

美濃部委員

3. 修正及否決ノ意ナリ

4. 一旦各議院ニ戻シテ正規ノ議院ノ議決ト

ナスモノナリ

第三十七條ノ規定ハ左ノ二點ニヨリテ不合

理、不可解ナル規定ナリ

1. 國會ハ國民ヲ代表スルモノナレバ最高機

關ハ國民ニシテ國會ニ非ズ、況ヤ國會ハ憲

法改正ノ權限無キニ於テオヤ

2. 國會ハ唯一ノ立法機關ト云フモ、憲法改正

松
本國務大臣
一、貴見ノ國家ト離レテ法律的ニ國民ナル機
關アリトスルハ困難
ナリ、憲法改正ハ立法
上重大ナル故例外ト
セルニ由ル
2、憲法改正ハ例外ナル
ノ權限ナク最高法規タ
ルノ條約ノ決定權モ
ナク委任命令モ内閣ノ
權限ナレバ眞實ニ
反ス
ヲ、條約ニ付テハ國會
ノ議決ガ同意ナル形
ニ於テ必要ナルヲ以
テ唯一ト八眞實ニ反
スルコトナシ難シ

極秘
院

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

美濃部委員

1 第四十條ノ社會的身分トハ何ゾヤ公職追放令該當者、定刑者、前科者、官吏等モ社會的身分ニ非ザルヤ

2 第五十一條但書ノ爭訟ノ判決決定方法トシテ、議員ニ有利ナル判決ノ場合ハ過半數、不利ナル判決ノ場合ハ三分ノ二トスルハ不合理ナリ

入江長官

ハイ、士族、華族、部落民等ノ如キ社會生活上ノ階

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

遠藤委員

1. 第三十七條ニ付テ、條約、國會ノ解散、裁判等各、國會同様最高機關トナス八不可解

以テ、國會ノ立場ニ立ツ機關ナリ

2. 兩院協議會ニ關シ法律案ト豫算案トヲ區別スル理由如何

級觀念ヲ伴フモノヲ指シ、例示ノ場合人的ノモノニシテ社會的身分ト稱シ差支ナシム八意ナリ

2. 手續ヲ愼重ナラ

松本國務大臣
1、全般的ニ國會ヲ最高ト解セラル
シ何等ノ妨ゲヲシトト解
2、法律案ハ衆議院ノ再考ヲ促ス意味アル
豫算案ノ場合ニ於テハ法律案ト同様ニ
バ不成立ニ終ルヲ慣ヒアリ、要スルニ議案
性質上本案ノ如キヲ相當トスベシ
（午前十一時五十五分ノ午後一時迄休憩）
潮委員長
ー、參議院ノ、緊急集會ノ内閣ガ之ヲ要求ス
ル

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

松本國務大臣

1. 然リ國會ノ召集ハ異ルガ故ナリ

2. 數日間ハ要スベキモ、實際上緊急集會ヲ要スルヤ

3. 國會ニモ法律案ノ發案權アリヤ

4. 法律案ニ付テモ兩院協議會ヲ經シメテハ如何

入江長官

2. 實際問題トシテ緊急集會ヲ緊急ニ開キ得ルヤ

3. 國會ニモ法律案ノ發案權アリヤ

4. 法律案ニ付テモ兩院協議會ヲ經シメテハ如何

極秘

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

スベキ緊急ナル事態ニ於テハ参議院ノ
テハ斯クアルベキヲ豫想シ居ルコト
察ニ難クナキコトト思料セラルル而シ
ノ場合ノ定足數ハ國會ノ場合ト同様議
ノ三分ノ一ニテ可ナルベシ

3、明文ナキモ、法律案ノ提出者ノ特ニ限定シ
居ラザル趣旨ヨリ、國會モ發案可能ナリト
解セラレ、議員法ニ於テ規定セラルベシ

4、然カスルコトハ毫モ支障ナシト思料
案ニ於テハ兩院協議會ヲ開カザル可
ラズ

SIGNAL CORPS PHOTO STAT U S ARMY

次ニ林委員

トナス趣意ニ非ズ

憲法第五章内閣ヲ議題ニ供ス

一、内閣ノ行フ助言及承認ハ行政權ノ中

二、行政權ノ主體ハ内閣テフ合議的組織

ニモ國務大臣ハ單獨ノ權限ヲ有スルヤ

三、内閣總理大臣モ國務大臣ノ一員ナリ

ヤ

四、第六十二條ノ「連帶」語ハ内閣ガ組織體ナ

ルコトヨリ當然カクアルベキヲ以テ不要

ナラ

ヤ

秘密 枢密院

769

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

ニ非ズヤ

5. 國務大臣ガ行政各部ノ行政權ヲ行フ場合ノ責任ハ單獨ノモノナリト思料セラルルヤ

ガ然ル場合ノ責任ハ本質如何ト解セラレザル處ヤ

6、內閣ノ國會ニ對スル責任ノ本質如何

ク、參議院ハ規定上不信任決議ヲ爲シ得ザルカ如キモ、若シ然ラバ內閣ノ參議院ニ對スル責任ハ無意味ニ非ザルヤ

8. 內閣ガ國會ニ對シテ責任ヲ負フトセバ、天

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

皇ニ對シテモ法律上(憲法上)ノ責任ヲ負フ
ベキニ非ズヤ
9 第六十四條ノ內閣總理大臣ノ任命ニ國會
ノ承認ヲ要スルトキハ罷免ニモ然スラバ
ニ非ズヤ
10. 第六十六條ニ關シ總選擧ノ結果與黨ガ絶
對多數ヲ得タル場合ニモ總辭職ヲセ
可ラザル理由アリヤ
11. 內閣總理大臣任命セラルヽモ必ズシモ內
閣ハ成立セリトナスヲ得ザルヲ以テ第六

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

十七條ノ規定ハ不合理ニ非ズヤ

入江長官及佐藤次長

1. 然リ

2. 然リ、國務大臣ハ内閣ノ一員トシテ行政權ヲ行フモノナレバナリ

3. 然リ

4. 特ニ明瞭ナラシメタル意ナリ

5. 各部ノ行政モ内閣ニテ合議體ノ意思ニ從フモノナルヲ以テ上、内閣トシテノ責任ニ非ズ、又兵仕ハ免ル

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

松本國務大臣

9. 兩者ノ重要度ヲ異ニスルモノト解シタルニ由ル

5 國務大臣ガ單ニ行政長官トシテノ場合ニ對スル責任ヲ於テハ内閣ノ國會ニ對スル責任ヲ例ヘバ政會ノ委任ニ依リ發シ居ルガ如キ場合ニ成立セザルベシ、例ヘバ政會ノ委任ニ依リ發シ居ルガ如キ場合ニ於テ各省ヨリ省會ヲ禁ズル旨ノ命令ヲ以テ參議院ヲ不信任決議ヲ爲スヲ妨ゲズ從テ

6. 政治的意義ノ責任ト解ス

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

参議院ニ對シ責任アルハ當然ナルガ衆議
院ニ對スルガ如ク解散ヲ爲シ得ザルノミ
ナラズ天皇ニ對シ徳義上ノ責任ヲ負フベシ
トシテ國會ニ對スル責任ノミニテ足ル
ベシト解セラル
10、然ルニ場合ハ再指名ヲ受クルコト當然ナル
ベキモ、一應勾切ヲ付ケ新議會ニヨリ指名
セシムルヲ適當ナリト解シタルニ由ル
11、貴見ノ如ク本案ニ於テハ内

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

林委員

閣總理大臣ガ二人在ルコトヲ特ニ避ケントセルモノニシテ實際上然ル場合ハ當然内閣ヲ組織セラレ居ルモノト見テ差支ヘナシ

一第六十九條第一號ノ誠實ナル字句ハ不要ニ非ズヤ

2同條第四號ノ意味如何

3.政會以下ノ法規ニ付テハ同條第六號ニ明文ナキモ如何

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

4 同條第七號ノ裁判ノ効果ヲ變更或ヒハ消滅セシムル意義アルニモ拘ラズ之ヲ内閣ニ存當ニ非ズヤ

5 特赦トハ刑ノ執行免除ヲ本體トスルモノナレハ重複セル二非ズヤ

江長官

1 特ニ行政ハ法律ニヨル行政ナル趣旨ヲ強調スル爲ニ使用セリ

2 官吏ニ關スル事務ノ基準ハ必ズ法律的基

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

177-874

佐藤次長

準ニ從フベシトノ意ナリ

3. 法律ノ委任ニヨル

4. 天皇ノ國務ノ範圍ト

體的ノ處分行爲ニ傾

ルニ由ルモ、必ズシモ

ニ非ズ

5 新見地ヨリ考究シタル意味ニ過ギズ積極

遠藤委員

的理由ナシ

趣意

軽易ナリトセル

秘密

院

SIGNAL CORPS PHOTO U S ARMY STAT

一、條約ノ批准者締結者何レモ内閣ノ由ヲ同一人ニテ支障ナキヤ

二、條約ニ對シ國會ガ事後ニ承認ヲ與フルモ不都合ニ非ザルヤ、又此ノ場合承認ヲ與ヘザリシ場合ハ如何

佐藤次長

一、批准ハ實際的ニハ全權委員ノ署名ヲ以テ足ルト解シ居リ別段支障ヲ認メズ

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

松本國務大臣
2 由ル 批准ナシニ行ハルヽ場合多キヲ豫想
之國會ガ事後承認ヲ與ヘザリシ場合ニ
約ハ有效ナルモ觀念的ニハ國會ニ對
責任ハ殘ルモノト考ヘラルヽ、但シ實際的
ニハ國會ト內閣ハ一體タルベキ立前ナレ
2 バ文障ハナカルベシ

潮委員長
本 ス

午後三時二十五分閉會
SIGNAL CORPS
PHOTO
STAT
U S ARMY
180

1

帝國憲法改正案ヲ帝國議會ノ議ニ付スルノ件ヲ
第七回審査委員會
昭和二十一年五月十三日（月曜日）樞密院
事務所ニ於テ開會

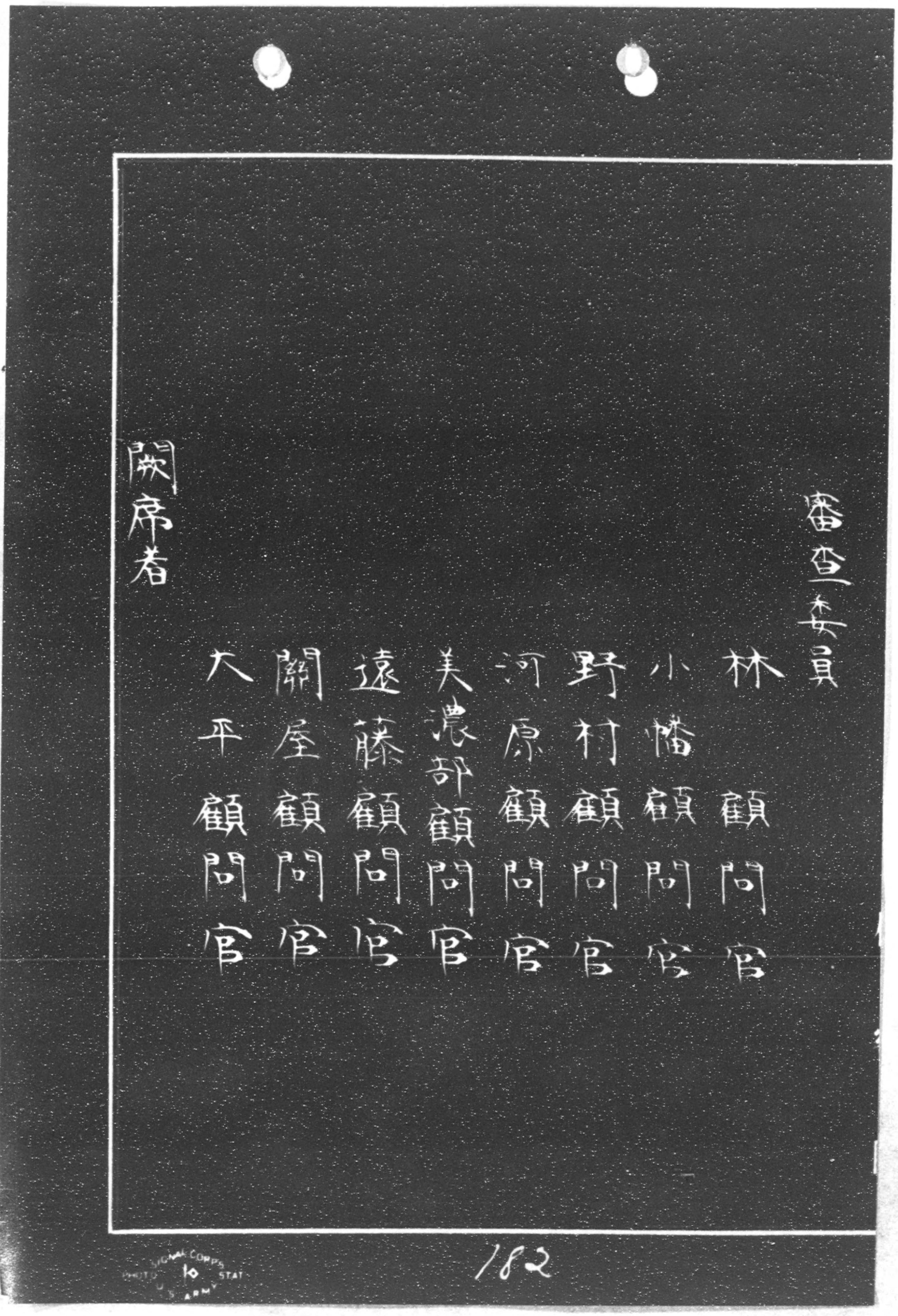
出席者

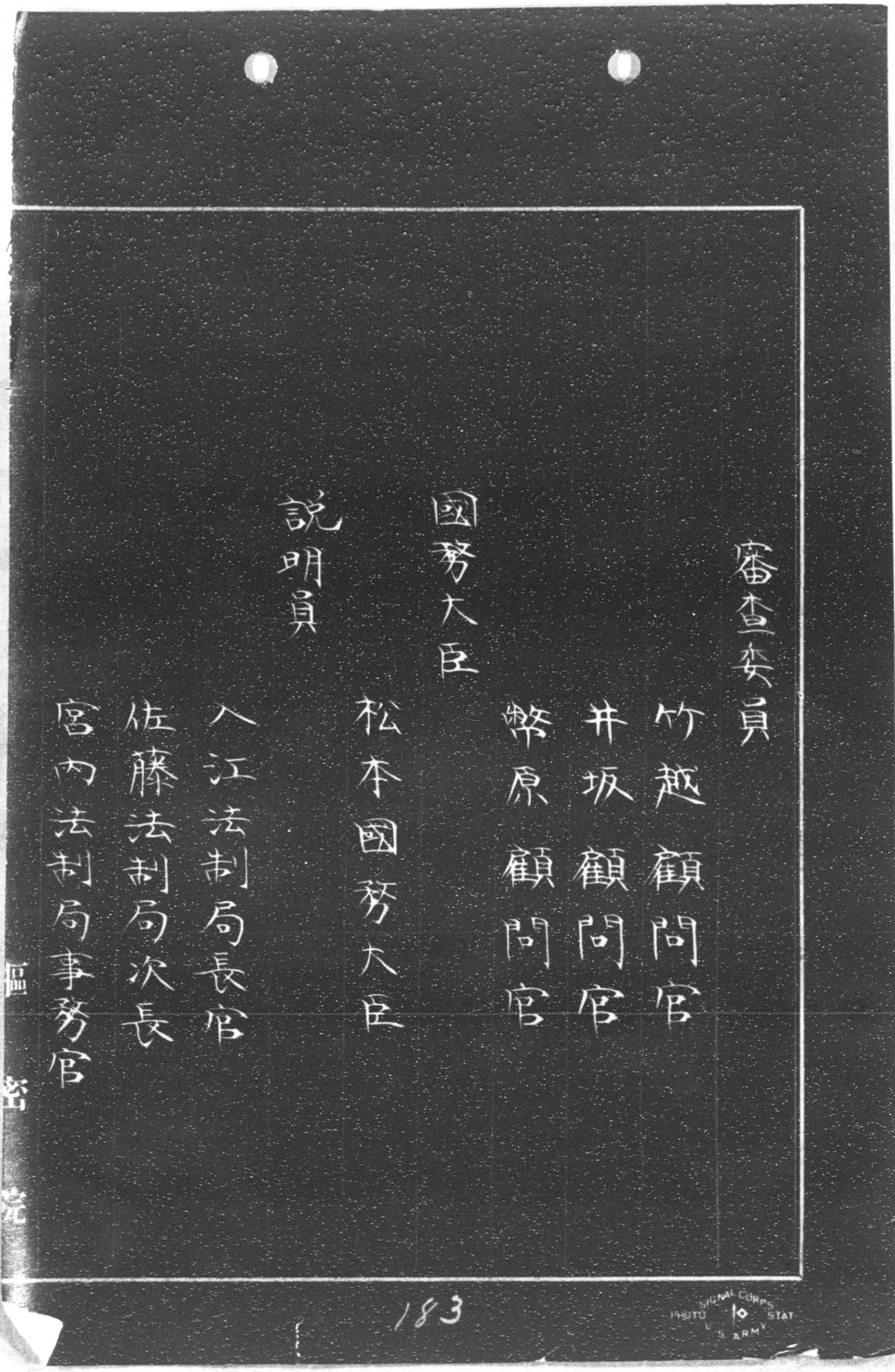
審査委員長　鈴木議長
顧問官　清水副議長

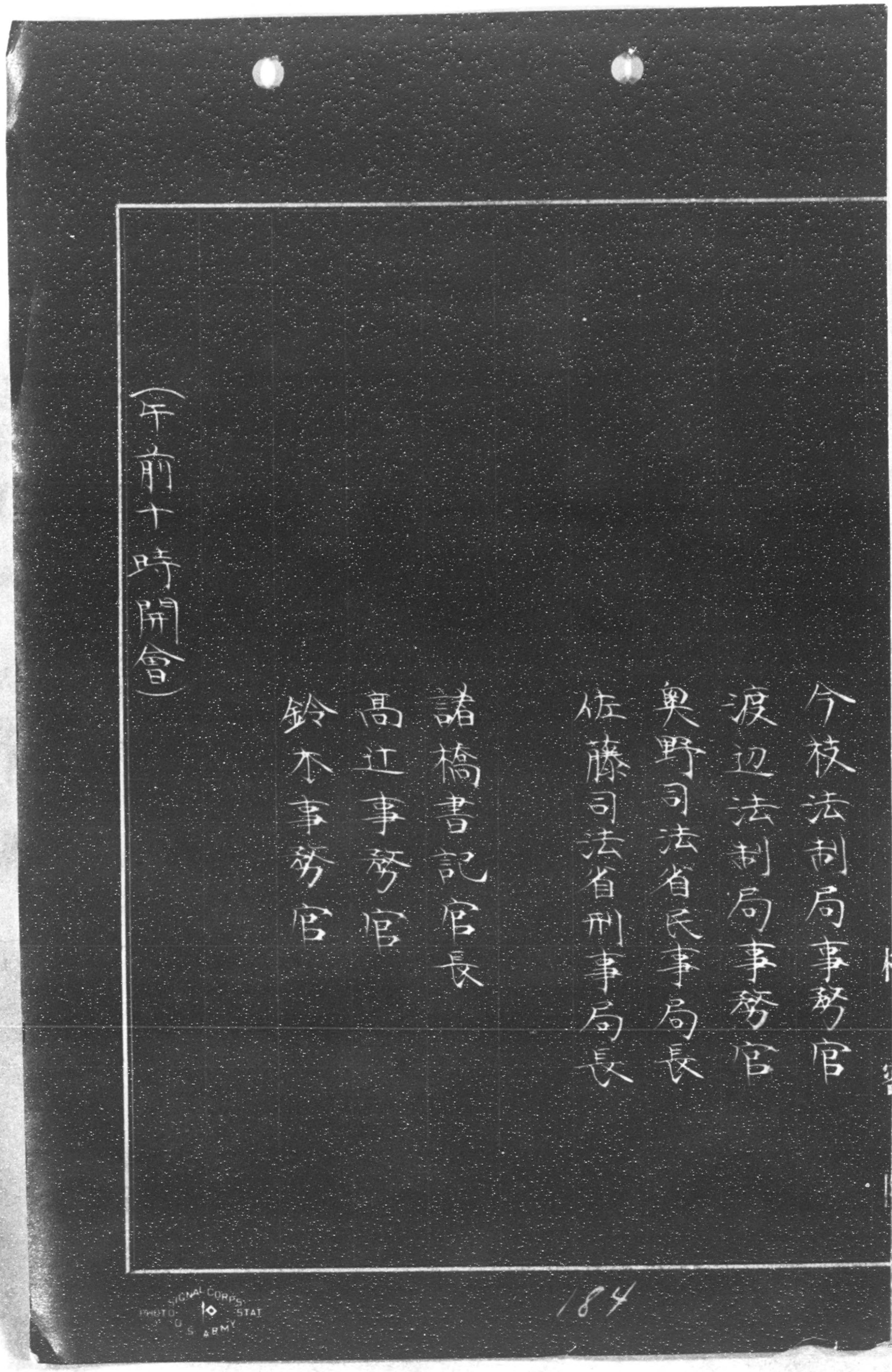
樞密院

181

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY 10 STAT


審査委員
林 小
野 河
村 原
部 濃
藤 美
屋 遠
顧 顧 顧 顧 顧 顧 顧 顧
問 問 問 問 問 問 問 問
官 官 官 官 官 官 官 官
開
席
者
大
平
顧
問
官
182


審査委員
竹越顧問官
井坂顧問官
幣原顧問官
國務大臣
松本國務大臣
説明員
入江法制局長官
佐藤法制局次長
宮内法制局事務官
183
SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U. S. ARMY


(午前十時開會)
今枝法制局事務官
渡辺法制局事務官
奥野司法省民事局長
佐藤司法省刑事局長
諸橋書記官長
高辻事務官
鈴木事務官
SIGNAL CORPS
PHOTO
U.S. ARMY
STAT
184

潮委員長開會ヲ宣シ第六章司法ヲ議題ニ供ス

林委員　本案ニ八陪審員ニ付規定スルカ如キモ之ヲ置カサルモ現行法ニ於テモ陪審ハ何ソヤ

佐藤法制局次長　憲法ノ精神ヨリ見テ、明文ニハ之ヲ認メラルルモノト思料ス

林委員　本案ハ民主主義ヲ汲メル本来ノ意味ノ陪審ヲ認ムル趣旨ナルカ

入江法制局長官

極秘　帝國議會

185

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

憲法直接ニ規定セサルモ新憲法ノ下ニ大體
アメリカ式ノ陪審制度ガ實施セラルルモノ
トモ考フ

林委員

然ラバ陪審制度ヲ認メザルモ可ナルカ

松本國務大臣

然リ、現行憲法ノ下ニ於テハ本來ノ陪審制度
ノ實施スルハ困難ナルモ新憲法ニ於テ之ヲ認メ得ベク人之ヲ實施セザルモ可ナリ而シテ之ヲ實施スルニ付テハ必ズシモ英米法

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

林委員

松本國務大臣

二做フコトナクタダ陪審員ノ意見ハ参考的ニ聽ク程度ニテ可ナリト考フ

行政裁判、労働裁判、交通裁判等特殊ノ知識経験ヲ有スルモノガ裁判スルヲ適當トスル場合ニ付特別裁判所ヲ設クルハ理由アリトスル趣意如何

料スルモ第七十二條第二項ニ於テ凡テ特別裁判所ハ之ヲ認メザルモノトスル趣意如何

第七十二條第二項ハ行政機關ガ終審トシテ

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

佐藤司法省刑事局長
林委員
デナク裁判スルヲ妨グルモノニ非ズ特許局ニ於テ特許審判ヲ行ヒ又例ヘバ厚生省労働審判ヲ行フガ如キヲ認メサルニ非ズ但シ裁判所ニ於テ為スコトヲ要スル終審ハ裁判所ニ於テ為スコトヲ要スルモノニ非ズ
林委員
違警罪即決處分ハ實質上警察署長ガ裁判スルモノナルカ終審ニ非ザルモノトシテ新憲法上モ差支ナキモノト思料スルカ
佐藤司法省刑事局長
新憲法ノ明文ニハ反セズト思料スルモ新憲

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT

法成立シ上ハカ、ル特別ノ裁判ハ認メザルコトトナルベシ

裁判委員

裁判官ノ懲戒裁判ハ何レノ裁判所ニ於テ之ヲ為スカ

大江法制局長官

特別ノ統治關係ニ在ル官吏等ノ懲戒ハ單純ナル行政機關ガ為シ得ルモノト考フ但ダ場合ハ玆ニ云フ司法權ト為シタルノミ通常ノ裁判官ハ別異ノ取扱ト考ヘズ

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

林 如何ニ

第七十三條ニ關シ本案

考フルカ又同第二項中

ノ規則ノ意義

佐藤司法省刑事局長

檢察廳ニ付テハ憲法上

リ即チ現制ノ

組織スルカ又ハ研究中ナル

察廳ヲ裁判所ト一ニス

立シテ檢察廳法ヲ以テ

カ未タ方針定マラズ法律調査會等ニ於

議ヲ進メ成案ヲ得度シ

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

奥林入

八第一項ノ裁判ヲ受ケタルモノニシテ
所ニ於テ検察官ガ活動スルニ際シ裁判
定メタル規則ニ従フベキモノトシタル
江法制局長官
検察官ハ特別ノ地位ヲ有スルニ鑑ミ第
ニ加ヘ宣言的ニ第二項ヲ置キタルモノ
林委員
第七十四條ニ關シ公ノ彈劾ノ理由如何
野司法省民事局長
判事彈劾法第六十條第二項ニヨリ理由ヲ定

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

メントス米國等ノ立法例ハ多クノ場合ニ當該
裁判官カ犯罪等アリタル際ニ彈劾セラレタリ
モノトセラレタリ

林委員　第七十五條ノ罷免ハ彈劾ノ一種ナリヤ

奥野司法省民事局長　全然別ナリ

林委員　最高裁判所ノ權限第七十七條第二項ノ
ナルニ鑑ミ其ノ裁判官ヲ内閣ニ任命スル
ハ重大

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

司法權ヲ尊重スル所以ニ非ズト思料ス

如何

入江法制局長官

内閣ニ於テ一應任命スルモ第七十五條第二項ノ

國民ノ審査ニ付スルモ

立ミ及之ヲ民主化スル上ニ於テ議會ガ裁判

官ヲ指定スルヨリ適當ナルベシト思料ス

松本國務大臣

最高裁判所ヲ議會カラ獨立セル趣意ニ由リ

裁判官ノ任命ハ内閣之ニ當リソノ適否ヲ國

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT 10

民ニ直接審判セシメントス此ノ觀點ヨリ重要裁判ノ評議ヲ公開スルヲ可トスベク本憲法亦之ヲ妨ケルモノニ非ズ

林委員

裁判官ノ有能無能ハ世人ノ能ク知ル所ニ非ザレバ本條ノ運用ニ付テハ多大ノ疑惑ヲ抱ク裁判官ニ付年令、員數、制限、外特殊ノ資格ヲ認ムルカ

入江法制局長官

憲法上直接ノ規定ヲモ法律ヲ以テ其ノ任

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U.S. ARMY

用資格ヲ定メントス第六十九條第四號ニ於
テハ行政官ト司法官トノ間ニ別ニ差異ヲ設
クルノ趣旨現ハレザルモ現制ニ於ケルガ如
特別ノ資格ヲ必要トス考フ

林委員

第七十六條ニ關シ最高裁判所ハ何ヲ基準ト
シテ下級裁判所ノ裁判官ノ名簿ヲ作成スル
ヤ内閣ノ任命ハ名簿ノ中ヨリ銓衡スルカ又
ハ銓衡ノ餘地ヲ置カズ其ノ儘任命スルモノ
カ

極秘

院

SIGNAL CORPS PHOTO STAT U.S. ARMY

奥野司法省民事局長
最高裁判所ノ中ニ下級裁判所ノ裁判官ニ關
スル調査機關ヲ設ケ其ノ研究ニ基キ任命ス
キ名簿ヲ作ルコトナルベク内閣カ任命ス
ル場合ハ名簿ノ中ヨリ選ブカ又ハ名簿ニ
佐藤決定セズ
林委員
司法省ハナクナルカ
奥野司法省民事局長
米國等ニ於テハ檢事總長ガ司法大臣ヲ兼ネ

SIGNAL CORPS PHOTO 10 STAT U S ARMY

林

ヲ少クモ検察關係ニ付テ司法省ハ存在スル
對應シ之ト獨立シテ最高裁判所ガ存在シ
事ノ調査等ノ機關ヲ附屬スルコトトナル
後ノ研究ニ屬ス

委員

第七十七條ニ付最高裁判所ハ條約ガ憲法ニ
反カ否カニ付テ決定權ヲ有セザルカ

江法制局長官

條約ハ對外的關係ヲ伴フニ依リ憲法ニ適ス

SIGNAL CORPS PHOTO U.S. ARMY STAT